

# 介護ビジョン

ケアのある風景  
社会福祉法人藤の会  
特別養護老人ホーム  
藤の家

第1特集

Z世代を狙え！  
新卒  
獲得戦略を  
探る

第2特集

実効性のある  
BCP策定で  
いざに  
今から備える

介護小説

「もうひとつの世界」  
寄り添うアレルギー



# 人材採用最前線

求職者を集めるだけでも苦労が絶えない昨今、「職員の空きが出るまで待ちたい」と入職希望者が列をなしている施設が存在する。それが、特別養護老人ホームエーデル土山だ。滋賀県のどかな郊外に建つ特養のどこに、職を求める人たちの惹きつける理由があるのか。介護士長の岩田秀信さんに聞いた。

取材・文 長北健嗣

## 職員を大切にすることで

## 入職待機者が続出

### 入職待機者が続出する 6つのポイント

社会福祉法人あいの土山福祉会が運営する特別養護老人ホームエーデル土山は、滋賀県の南部、甲賀市土山町に位置する。開設は1999年4月。従来型35床とシヨートステイ5床に加え、ユニット型を30床併設している。そんな同施設では、現在15人以上が入職待ちだという。

「入職の応募があった時点で、職員が空くまで待つのか、一旦（応募を）取り下げるのかを確認します。そして、『待つ』と答えた人には一度施設見学をし、入職の意思を再度確認しています」と、岩田さんは説明する。入職待機者がいたこともあり、昨年開設した地域密着型特別養護老人ホームリトルブックも、募集から1カ月で職員が揃った。

同施設が掲げる「入職待機者が続出するポイント」は6つある。それが、「ワークライフバランス」

「働きやすい環境」「負担のかからないケア」「スタッフの健康促進」「スタッフ特典」「待遇・福利厚生」「キャリアアップ、育成」だ。

まず、「ワークライフバランス」働きやすい環境」について。同施設では、残業ゼロとともに、1日の勤務時間は7・5時間、年間休日は120日を実現している。会議や研修は勤務時間内に行うとともに、定時になったら帰るよう促すなど、残業しない仕組みをつくっている。また、余剰人員を確

### 人材募集の Check Point

- ☑ 人を「集める」ことよりも、働きやすさを追求して人材の定着を図る
- ☑ 施設のセールスポイントを事細かに明文化し、ホームページなどでアピールする

05

自作のホームページで  
魅力をアピール

特別養護老人ホーム

エーデル土山

From 滋賀県甲賀市

「スタッフ特典」の中身は年一回の社員旅行だが、日帰り旅行や国内・海外旅行など複数のコースから、気の合う職員同士で4名程度のグループを組み、好きなコースを選んで旅する仕組みだ。

「待遇・福利厚生」では、年収450万円以上（介護福祉士経験10年以上の目安）を打ち出すとともに、正社員の定年を70歳とし、60歳以降の昇給も保証している。

6つめの「キャリアアップ、育成」では、「プリセプターシップ」と呼ばれる教育制度を採用。年齢の近いスタッフが新人職員の指導を、約2カ月間マンツーマンで行

なった後、1年間ペアを組み、成長を促す仕組みだ。

求職者が魅力を感じる点について、「残業がないことや、腰痛を抱えない介護を徹底している点。また、長めの連休が取れるのも理由の一つのようです。給与面も魅力的だと聞いています」と、岩田さんは推察する。

同施設では、求人サイトなどに情報を掲載していないため、ホームページからの応募が多い。そのため、職場環境などをホームページ上で全面に押し出し、関心を引かせるように工夫。応募者のほとんどは中途採用で、地域も広島や

名古屋、大阪など多方面だ。

「中途の応募者は介護未経験が少なくありません。これは、未経験でもしっかり指導する当法人のシステムが、評価されたからだと思っています」と岩田さんは話す。

離職率40%から  
働き方改革を発起

開設当初は職場環境がひどい状態だった、と岩田さんは振り返る。「長時間労働が常態化し、サービス残業なども多く、労働基準監督署からは正告を受けたほどでした。その当時の離職率は40%に上っていました」

こうした事態に強い危機感を抱き、改革を押し進めていったのが、同施設の施設長の廣岡隆之さんだ。当時、事務局長だった廣岡さんは自身が子育て中だったこともあり、今でいう働き方改革をスタートさせ、まず残業をなくすことから取り組んだという。

働き方改革は、廣岡さんが施設長となったことで加速。介護施設における主な3つの離職理由「残業」「腰痛」「メンタル不調」をなくす「トリプルゼロ」の取り組み

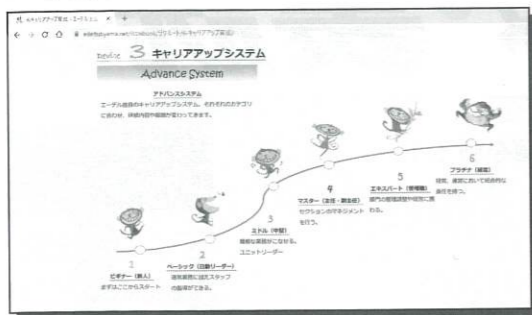
を推し進めた。改革の根底にあるのは「スタッフファースト」の考え方だ。働きやすい環境を実現し、職員の定着率を上げることで入居者に対するケアも充実し、施設の収益増につなげることに成功。同時に、ホームページや研修テキストを施設で独自に作成。浮いた経費を職員の給与等に還元した。

学生に向けた介護の魅力発信にも注力する同施設。地域の中高校生対象の職場体験に加え、小学生の施設訪問も実施している。

「利用者と交流してもらったりと、介護の楽しさや面白さを伝えていきます。実際、見学に来た生徒がその後、職員になったこともあり、同施設の快進撃は止まりそうにない。

## 採用戦略

▼職員が自作したホームページ。介護施設らしくないデザインが目玉を引く



▶小学校で出前授業を行い、介護機器の体験をしてもらうことも



特別養護老人ホーム  
エーデル土山  
●滋賀県甲賀市土山町北土山 2062  
TEL 0748-66-1911  
URL edeltutiyama.net/